

『アナリストのための財務諸表分析とバリュエーション (原書第 5 版)』
(ISBN 978-4-641-16523-6)

訂正情報 (第 2 刷向け, 2023 年 9 月 13 日更新)

下記の通り, 本書の一部に追加すべき訳注がございます。お詫びして掲載いたします。

・ 第 8 章 239 ページ 1~2 行目

(訳注を追加) 彼らはまた, 株式発行および買い戻しについて間違った考え方を
持っているかもしれない⁴⁾。

訳注 4) ここでの間違った考え方とは, ストック・オプションの行使による
既存株主の価値の希薄化を, 株式の買い戻しによって埋め合わせ
ができるという考え方である。経営者がそうした間違っ
た考え方によって自社株買いを行うと, 既存株主は 2 度損失を被る
ことになりかねない。具体的には, 株価が内在価値を超えて高騰
しているときに, 経営者がストック・オプションを行使し, さら
に, 発行済株式数を調整するために株式の買い戻しを行うと, 既
存株主は, ストック・オプションの行使による株式価値の希薄化
に加え, 高騰した価格での株式買い戻しによる価値の喪失を被る
ことになる。

・ 第 11 章 321 ページ Box11.5 3~4 行目

(訳注を追加) 平均売掛金を 27 億 6700 万ドルから 12 億 550 万ドルに減少させ,
全体の資産回転率を 3.21 から 4.30 に上げ, RNOA を 30.6 %から 41.1 %
に上げるだろう¹⁾。

訳注 1) 売上債権回転率と平均売掛金は, 252 ページ例 9.3 のナイキの組
み替え後の貸借対照表をもとに計算し, 原書の数値を修正した。
この Box 内のドライバーも, その修正値をベースに再計算されて
いる。そのため, 表 11.3 の数値とは異なることに注意されたい。